

## 平成14年度地理情報モニターに関する業務

実施期間 平成14年度  
地理情報部情報管理課 佐藤 輝実

### 1. はじめに

地理情報モニターに関する業務は平成2年度から測図部で実施していたマップモニター制度（平成12年度にデジタルマップモニターに改称）を平成13年度から地理情報部で引き継ぎ実施している。

近年のインターネットの普及やGIS導入に伴い、国土地理院が提供する地理情報に対する期待も高まりつつあり、平成13年度からは本制度を国土地理院が今後提供する地理情報（主にデジタルデータ）の内容・提供方法等に関する意見・要望の収集を主目的に行うこととなり、名称が地理情報モニターに改称された。

今回は平成14年度に実施した地理情報モニターの概要について報告する。

### 2. 業務内容

平成14年度の地理情報モニターに関する業務は、モニター公募、委嘱、サンプルデータの提供、意見等の受付及び回答対応が主な内容である。

モニター公募は、募集要項（応募資格：15歳以上の個人又は団体、募集人数：150名、委嘱期間：平成14年10月1日から平成15年2月28日までの5ヶ月間）により平成14年7月1日から7月31日までの1ヶ月間実施した。

平成14年6月28日には記者発表を行い、国土地理院ホームページへ掲載した。また、昨年度の委嘱者には電子メールで募集のお知らせを行った。

応募受付は（財）日本地図センターのホームページに平成14年度地理情報モニターホームページを開設しインターネットによる応募を行った。インターネット応募ができない方については郵便による応募も受け付けた。

応募は、個人が46名、団体が7団体あり、応募者全員に委嘱状を送付した。

今期のサンプルデータは「三宅島 GIS 用データ」と「土地条件図数値データ（水戸）」としたがデータ量が膨大なためCD-Rで送付した。

意見等の受付は、提供したサンプルデータについての意見等や国土地理院のホームページで公開している地理情報についての意見等を平成14年度地理情報モニターホームページの掲示板コーナーで行い、モニター間でも意見交換ができるようにした。質問等については、その都度、掲示板コーナーへ回答文を掲示した。

なお、本業務は、（財）日本地図センターへの業務委託により実施した。

### 3. 得られた成果

地理情報モニターの掲示板へは、19名のモニターから29件の書き込み(投稿)があった。また、郵送で1名のモニターから2件の投稿があった。

なお、別途、メールによるアンケートを行い、27名のモニターから回答があった。

主な意見・感想等の要旨は以下のとおりである。

#### (1) 今回の地理情報モニター制度の実施に関する意見等

以前のマップモニターのように1:25000地形図の誤り・経年変化等の情報も、地理情報モニターホームページの掲示板等へ書き込めると良いと思う。

以前のマップモニター制度と比べて、今回はホームページで情報を見ることができ、すばらしい。モニター同志で意見交換ができるのも大変良い。

#### (2) 今回提供のサンプルデータについて

##### <土地条件図データ(水戸)>

自作の記号や文字などの必要項目が簡単にオーバーレイできれば利活用が開けてくると思う。

色の設定は単なるべた塗りではなくハッチングなどを併用したほうが見やすい。

拡大縮小のユーザインタフェイスは、ツールバーにある拡大縮小ボタンをクリックするだけで(画像をクリックせずに)直ちに実行される方式も選べた方がよい。

##### <三宅島GISデータ>

このデータをどのように利用するのかというテーマを明確にしないとコメントが難しい。

主題図を作成したり、空間解析をする場合、ArcExplorerでは表示のみの機能なので難しい。また、サンプルデータに入っている属性データに他のデータベースを追加したい場合、キーになるIDや経緯度座標が必要になる。

今後は「カシミール3D」から直接プロジェクトファイルが開ける形式での対応を希望する。その方が個人ユーザーにとっては、利用しやすい。

三宅島のデータに空中写真の撮影ポイントがあるが、出来ればすでに作成済みのシェープファイル(ベクター図)と重ね合わせて使用したい。

とてもよく出来ていると思う。火山灰の降灰量分布とかもあればさらにいいと思う。

#### (3) 国土地理院のHPの数値地図関連閲覧サービス等に対する意見等

##### <地形図閲覧システム>

1:25000地形図閲覧サービスは大変便利なので良く利用している。平成14年以降地形図が更新されていないので更新してほしい。

1:25000地形図について旧版地形図の閲覧ができれば利用したい。また、1:25000地形図を検索する時、1:20万地勢図の内容も閲覧できるようになるとより便利になると思う。

##### <空中写真閲覧システム>

米軍の1/10000の写真の解像度が良いのに驚いた。拡大が1段階(縮小から標準)しかないのが残念です。簡易的な画像ビューア的なもので拡大、縮小が出来れば良いと思う。

他の地図データと組み合わせて利用する場合、座標データが欲しい。縮小版なら四隅の経緯度、標準画像ならトンボの経緯度データが欲しい。

空中写真の接合や地形図のオーバーレイを考えると、空中写真のオルソフォト化が必須。

空中写真は撮影当時の旧版地図も同時に閲覧できると、新旧の写真と地図を並べることにより、一段と時の経過による変化が確認できると思う。

全国のデータが利用出来るようにして頂きたい。

撮影コースと位置がはっきりと表示されており、とても良いと思う。

立体視して見たが、とても鮮明に見ることができた。

#### (4) 国土地理院に整備、提供してもらいたい地理情報等

デジタル化した空中写真を販売してほしい。

数値地図 25000 (地図画像) について、数値地図 25000 (地図画像) を更新した時、1:25000 地形図 (紙地図) よりも地図内容を新しいものにしてほしい。

1:25000 地形図 (紙地図) について新版が発行されると旧版は廃盤になるが、旧版も品切れになるまでは販売してほしい。

都市部の地形について、近年、地下鉄どうしの交差、鉄道の高架、都市高速又は首都高速の高架部分、トンネル部分などが混在し、紙地図では非常に見づらくなってきた。数値地図の地図画像も地下、地上に分けて表示するのはどうか。

旧版地形図 (明治・大正時代) データをインターネットで公開してほしい。

地形区分図、土地利用図、空中写真の公開をさらに進めてほしい。

#### (5) その他感想等

どんなに詳細な地図が提供されても、利用する (見る) のに手間と時間がかかってはあまり使われない。

利用する立場からすると、まずデータを見られる。見ているうちにこのデータを何に利用するか考える。データを追加加工する。といった発想になります。

ゼンリンの電子地図帳 (Z5) のような操作性のよいソフトでデータが見られたら楽しいと思います。

今回のデータのようなものが全国的に整備・提供する場合は、品質や精度を保証するためにも、十分な検査体制の確立と電子地図に対する図式の策定、検査システムが不可欠。

## 4. 結論

地理情報モニターの趣旨・目的は、未刊行の数値データの内、まだ、刊行が決定されていない地理情報データをサンプルデータとして提供し、それらに対する意見・要望・提供方法などをモニターすることであるが、この趣旨・目的に沿うような既存の数値データは実際にはあまり存在せず、何をサンプルデータとして提供するのかという点が今回最も苦慮した。最終的には、必ずしもこの趣旨・目的に沿うものではなかったが、「三宅島 GIS データ」と「土地利用図データ」を地理調査部の協力により提供用サンプルデータとすることに決定した。併せて国土地理院のホームページで公開している各種地理情報データについてもモニターすることにした。

提供サンプルデータが専門的すぎたせいもあるが、5ヶ月間のモニター期間の前半は投稿がわずかしかなく、年明けに投稿を促した結果、最終的に31件の投稿意見が寄せられ様々な意見を集約できた。また、終盤に取り組んだアンケートには約半数以上のモニターから回答があり、有益な意見等を多数集約できたことは大きな成果と言える。

今後も継続的に地理情報モニターを実施する場合は、あらかじめモニターしやすい情報、モニターのレベル、必要性等を十分に考慮し、長期的に提供サンプルデータを決定した上でモニター制度の有効活用を図るべきである。

